



## 一年を振り返る 今年の漢字

今年もあと10日を切りました。先日京都市の清水寺で、日本漢字能力検定協会から今年一年の世相を表す漢字が「災」と発表されました。

年末は何かと慌(あわ)ただしい時期ですが、一年を振り返る大切な節目のときでもあります。みなさんにとって「今年の漢字」はどんな文字でしたか。

高鍋東中学校の今年一年を振り返ると、3年生を中心とした西都児湯地区や県総合体育大会での活躍、陸上競技や柔道競技での全国・九州大会出場、NHK合唱コンクール金賞受賞(九州大会奨励賞)、英語弁論大会での2部門優勝、1・2年生チームの秋季体育大会での健闘など、文武に渡って数多くの活躍、そして東中生徒のさわやかな姿がありました。生徒294人の努力とそのすばらしい成果を讃(た)えて、今年の漢字を自信をもって「東」と表したいと思います。

それぞれが1年を振り返り、来年の「亥年」(いのしし)も充実した一年にしていきたいと思います。

東

## 自他の違いを認めること 人権集会で考える

12月4～10日は、「人権週間」でした。東中学校でも7日(金)に、人権集会を開催しました。これは、1 人権を身近なものとしてとらえ、自他の人権を尊重していこうとする意識を高める。

2 自他の違いを認め、尊重し、共に生きていく社会の実現を目指そうとする態度を育てる。

3 あらゆる差別や偏見を許さず、なくしていこうとする意識をもたせる。

ことなどを目的に、毎年この週間に開催しているものです。

今回は、講師に宮崎市在住の性同一性障害の当事者である黒木瑞季さんをお招きして講話をしていただきました。講話の中で、黒木さんが小中学生のころに学校でのトイレや着替えのことで不都合を感じてとても辛かったこと、言葉によるいじめを受けたことなど。また大人になってからも不安や葛藤があり、自分に向き合い、周りに告白できるようになるまでに大きな悩みと長い時間があったことなどをお話しをされました。そして、同じような思いを子どもたちや他の人にさせたくない、差別や偏見のない社会をつくるのはあなた自身であると生徒に強く伝えられました。集会の最後に、全校生活委員長の古場 翔菜美 さんがお礼の言葉を述べました。

今日はお忙しい中に、私たちのためにこのような講話をしていただきありがとうございました。

私は今、当たり前のように毎日を過ごしていますが、世の中には自分の性別のこと、体のこと、心で悩んでいる人がいると聞いて、私もその人たちの力になりたいと思いました。また、私は、一人一人様々な個性があり、それを認め合うからこそ、楽しい毎日が過ごせるのだと思います。だから私は、これからも一人一人の個性を大切に生活していきたいと思います。

今日は本当にありがとうございました。

## 職場体験学習について ポスターセッションを行う

2年生は12月14日(金)に本校体育館で、キャリア教育の一環として、11月の職場体験学習(2日間)を振り返りながら、発表会(ポスターセッション)を行いました。これは、発表や意見交換を通して、それぞれの生徒が感じた仕事のやりがいや働く意義を共有し、深めることを目的に実施したものです。

今回は、24グループが8つのブースに分かれて、各グループ作成のポスターを活用した発表と意見交換を行いました。各ブースでは、どのグループとも職場体験で学び感じたことを聞き手に伝わりやすいように、指示棒を使ったり、身振り手振りを交えたりして、各自が工夫をして表現する姿が見られました。また、発表を聞くために来校された町内事業所の方や、参観された他校の先生方からも質問や意見をいただき、生徒がそれに丁寧に答えるなど、各ブースで大変活発な意見交換が行われました。最後に、各自がこの発表会を通して学んだことを、ワークシートにまとめました。

今年度東中2年生は、1学期から高鍋高校探求科学科の2年生や先生方に本校に来ていただいて、探求的な学習の進め方やプレゼンテーションの行い方などについて、講義や演習を行っていただきました。今回の2年生が将来の社会的・職業的な自立に向けて、有意義な発表会を行うことができたことも、高鍋高校との連携によるところが多くありました。心より感謝いたします。

